

2026（令和8）年度

1日[*]

地理歴史（世界史）

注 意

1. 監督者の指示があるまでは、問題を見ないこと。
2. 問題は声を出して読まないこと。
3. 問題は22ページ、**①**、**②**、**③**、**④**の4問から成っている。
4. 問題や解答用紙に落丁、乱丁、汚損あるいは印刷不鮮明の箇所などがあれば、手をあげて監督者に申し出ること。ただし内容に関する質問は受けつけない。
5. 解答は**マーク式**と**記述式**がある。解答は必ず**黒色鉛筆**を使用し、マーク式の場合は解答用紙の所定解答欄の記号に**マーク**すること。
6. 訂正箇所は、消しゴムで**完全に消す**こと。
7. 解答に関係のない符号（?レなど）は記入しないこと。
8. 解答用紙を**折ったり汚したり**しないこと。

1 次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

イギリスで始まった産業革命は、社会や経済のあり方に大きな変化をもたらした。工場での自動化・機械化・分業は生産性を格段に上昇させたが、同時に熟練職人の価値は下がり、安価な労働力として小規模農民や女性、子どもが工場労働者となった。職を失った熟練職人のなかには、機械の破壊活動におよぶ人々も現れた。これを ① 運動と呼ぶ。また、工場労働者の低賃金や長時間労働の問題も深刻化した。② は『オリヴァー＝トウイスト』で貧困や児童労働を題材にするなど、当時の社会変化を写實的に描いた。

イギリス政府は自由主義の観点からこうした状況を容認する傾向にあった。しかし、労働組合活動の活発化を受け、1833年には工場監督官の設置や児童労働の制限などを盛り込んだ工場法が制定された。これは労働環境の改善に加え、家庭における子どもと女性の役割を再定義するきっかけとなった。

19世紀後半になると、自由党の政治家 ③ が政権を担い、教育法や労働組合法、選挙法改正など、さまざまな改革が進められた。特に第3回選挙法改正によって男性労働者への選挙権が拡大した。功利主義を唱えた哲学者 ④ は自らも議員となって女性の選挙権の導入を訴え、女性参政権運動に影響を与えた。

1914年、ドイツが ⑤ に侵攻したことをきっかけに、イギリスは第一次世界大戦に参戦する。戦争は総力戦となり、男性が大量に戦地に送られるなか、軍需工場や交通機関など、従来は男性の職場とされていた部門にも女性が進出した。戦前からの女性参政権運動に加えてこうした戦時貢献を背景に、1918年には30歳以上の女性に選挙権が付与されることになった。

第二次世界大戦後、先進国の多くでは法権利の面で男女が対等になった。しかし、職場での待遇や職種などの格差、また家庭での家事労働の格差などは残存した。これらが社会的に問題視されるようになるには、1960年代半ば以降の「女性 ⑥ 運動」を待たなければならない。

設問1 文中の空欄 ⑥ にあてはまる語句を漢字2文字で書きなさい。

設問2 文中の空欄 ① ～ ⑤ にあてはまる語句を以下の語群から
選びなさい。

〔語群〕

- | | |
|---------------|-------------------|
| ① (ア) ジャコバン | (イ) チャーティスト |
| (ウ) ラダイト | (エ) レジスタンス |
| ② (ア) ゲーテ | (イ) スタンダール |
| (ウ) ゾラ | (エ) ディケンズ |
| ③ (ア) グラッドストン | (イ) ジョゼフ＝チェンバレン |
| (ウ) チャーチル | (エ) デイズレーリ |
| ④ (ア) ベンサム | (イ) オーウェン |
| (ウ) マルサス | (エ) ジョン＝ステュアート＝ミル |
| ⑤ (ア) イタリア | (イ) オランダ |
| (ウ) デンマーク | (エ) ベルギー |

設問3 下線部(1)に関連して、世界各国の産業革命に関する記述として正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) ドイツ諸国では19世紀初頭から国家主導で重化学工業が盛んになり、19世紀半ばには工業化を背景として市場の統合が進んだ。
- (イ) フランスでは二月革命後に国立作業場が各地に建設されたことで産業革命が一気に進展した。
- (ウ) アメリカでは南部の工業化から産業革命が本格化し、南北戦争後に国内市場が統一されると、1880年代半ばには世界最大の工業国となった。
- (エ) ロシアでは19世紀後半の農奴解放により労働者が創出され、1890年代以降にはフランスの支援を受けながら工業化が進んだ。

設問4 下線部(2)に関連して、18、19世紀のヨーロッパの経済政策・思想に関する記述として正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) アダム＝スミスは『資本論』を著し、イギリス政府による重商主義政策を強く批判した。
- (イ) リストはドイツのような後進国では国内市場を守る必要があるため、保護貿易が重要だと主張した。
- (ウ) コブデンとブライトを中心に結成された反穀物法同盟は、穀物取引の自由化に強く反対した。
- (エ) 19世紀前半にイギリスでは自由貿易運動が高まり、地主や農業家の働きかけで穀物法が廃止された。

設問5 下線部(3)に関連して、次の文と資料を読み、以下の設問に答えなさい。

イギリスでは1833年の工場法で児童・年少者の労働時間が制限された。1844年の改正では成人女性の労働時間も制限されることになり、その後も児童・年少者・成人女性の労働時間制限が拡大していった。資料Aは1844年の議会で成人女性の労働時間制限に賛成した議員の発言である。資料Bは1873年の議会でそれに反対した議員の発言である。〔 〕は問題作成者による補足、…は中略を示す。

資料A

機械が様々な改良されるため、成人男性の雇用は児童と女性の労働に取って代わられる傾向がある。制限も規制もされることなく、児童や女性の脆い^{もろ}身体が工場労働の破壊的な作用にさらされるとすれば、将来世代にどんな影響が及ぶだろうか。〔…〕思春期にさしかかろうとしている女性に過剰な労働をさせないよう保護を与えることはとりわけ重要ではないか。彼女らが後に母親になることを考えれば、それは極めて重要、不可欠だと言わざるをえない。〔…マンチェスターの工場監督官の報告書によれば〕18歳になったばかりの女性が午前6時

から午後10時まで働かざるをえず、食事休憩は合計でたった1時間半という例も複数ある。〔…〕諸君、いったいこうした状況で家庭生活がどうやったら可能だというのか。家庭生活の義務をどうして果たせようか。〔…〕ある工場の既婚女性13人のうち、夫にシャツを作ってやる方法を知っていたのはたった1人、繕い方を知っていたのは4人にすぎない。〔…〕現行制度は自然の秩序を乱し、男性労働者の権利を阻害する。男性は作業所からはじき出され、その場所を女性が占めるのだが、そうして女性たちは今度は家庭での義務を果たさなくなる。

(Hansard's Parliamentary Debates, vol.73, 15 March 1844)

資料B

議会には成人の労働者に干渉するいかなる権利もない〔…〕。成人は自分が何時間働くかを自分では決められないのだという原理を一旦受け入れてしまえば、彼らを大人の管理や導きなしには何もできない無力な子どものように扱うことになってしまう。児童労働の場合には、だから私たち大人が児童の賃金を決めてやらねばならないのだ。〔…しかし〕工場労働者が自分の労働の対価をいくら受け取るかを決めるのに、議会の助けが必要だと思う人はいないだろう。自分で自分の賃金の額を決められるなら、常識的に考えて、なぜ自分が働く時間を自分で調整できないことがあるのか。〔…〕しかし〔女性の労働時間を制限する法案を提出した〕マンデラ議員はおそらくこう反論するだろう。「男性が自分のことを自分でするのは当然である。男性は自立して自由であり、自分のために何が最善かを自分で考えられるからである。しかし女性の場合はどうか。〔…〕女性は16、17歳になるまでは〔父親の〕使用人であり、その後1、2年は自立していたとしても、結婚すれば自分の主人の奴隷になる」。〔…〕つまり、男性の労働には同じ法律を設けず、ただ女性の労働時間を制限するとして、それを正当化する唯一の理由は、女性は自由な行為主体ではないからだということになる。実際、これが子どもの利益を守る法律の正当化理由

だった。[もし万が一これが正しいとしても]しかしさらに考えなければならぬのは […] この法案によって場合によっては女性の雇用が減退するということである。我が国の社会状況を考えてみてほしい。自活するために労苦を払い、厳しい奮闘を強いられている女性がどれほど多いことか。女性が真つ当な労働から排除されれば、切羽詰まって、品位を落とすような悲惨な生活を送らざるをえなくなるだろうと考えてほしい。女性が自活する道を塞いでしまう効果をもつ法案を承認することに躊躇しない人などいないだろう。

(Hansard's Parliamentary Debates, vol.217, 30 July 1873)

資料Aと資料Bから、当時、女性の労働時間規制に賛成する理由、反対する理由としてどのようなものがありえたかを読み取り、次の組み合わせのうち、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 賛成理由 — 男性の仕事が奪われる。
- (イ) 賛成理由 — 長時間労働により女性は家庭での務めを果たせなくなる。
- (ウ) 賛成理由 — 成人女性は子どもと同様、自由な行為主体ではない。
- (エ) 反対理由 — 政府は成人労働者が雇用者と交わす契約に干渉すべきではない。
- (オ) 反対理由 — 未成年の女性は父親の使用人であり、既婚女性は夫の使用人である。
- (カ) 反対理由 — 女性が自活する可能性が減る。

設問6 下線部(4)に関連して、高校の授業で「イギリスにおける二つの世界大戦と女性の労働の変化」をテーマに調査を行った。天野さんと先生の会話を読んで、以下の設問に答えなさい。

表1 女性の労働力率(%)

	1911年	1921年	1931年	1951年	1961年	1971年	1981年
労働力率	35.32	33.12	34.20	32.73	37.49	42.62	45.53

表2 婚姻状況別の女性の労働力率(%)

	1911年	1921年	1931年	1951年	1961年	1971年	1981年
未婚	69.32	68.14	71.62	73.07	69.61	59.68	60.78
既婚	9.63	8.69	10.04	21.74	29.44	42.03	47.19

表3 主な職種における女性の割合(%)

	1911年	1921年	1931年	1951年	1961年	1971年	1981年	
非肉体労働者	29.8	37.6	35.8	42.3	44.5	46.2	42.8	
内訳	管理職	19.8	17.0	13.0	15.2	15.5	18.5	21.4
	高度専門職	6.0	5.1	7.5	8.3	9.7	10.0	13.0
	専門職・技術職	62.9	59.4	58.8	53.5	50.8	51.9	55.0
	現場監督	4.2	6.5	8.7	13.4	10.3	12.8	23.6
	事務職	21.4	44.6	46.0	60.2	65.2	71.9	78.1
	販売職	35.2	43.6	37.2	51.6	54.9	59.4	77.8
肉体労働者	30.5	27.9	28.8	26.1	26.0	28.6	28.7	

(注) 表1～3で集計された年齢は1911年は10歳以上、1921年は12歳以上、1931年は14歳以上、1951、1961年は15歳以上、1971年は16歳以上を対象とする。また表2の数値は、地域ごとに統計の取り方が異なったため、比較できるように国勢調査の数値を再計算したものである。(A. H. Halsey (ed.), *British Social Trends since 1900* (1988)をもとに作成。)

先生：二つの世界大戦は総力戦でした。男性労働者が不足するなか、女性も従来は男性の職場とされた工場などに動員されました。

天野：そうすると戦後は、女性も家庭の外で男性と同様に仕事をするようになったのでしょうか。

先生：そうは言いきれません。第一次世界大戦後は軍需産業も工場生産を縮小し、帰還兵が復職するため女性は解雇されました。また、女性を家庭外労働から家庭内労働、つまり使用人や料理婦、掃除婦、洗濯婦、乳母といった家事奉公業へ戻そうという動きが政治からも社会からも出てきました。

天野：統計資料を見て確認してみます。10年ごとに行われた国勢調査の結果を3つの表にまとめました。1941年は国勢調査は行われず、データはありませんでした。

先生：表1の女性の労働力率とは、就労可能な年齢に達した女性のうち仕事に就いているか、仕事を探している人の割合を示したものです。

天野：未婚女性と既婚女性の労働力率は表2にまとめました。

先生：女性の場合、結婚しているかどうかは就業に大きな影響を与えてきましたから、これも重要なデータですね。第二次世界大戦後に顕著な変化があったようです。

天野：職種についても知りたいと思い、表3も作成しました。例えば1931年では専門職・技術職に就いていた労働者のうち女性の割合は58.8パーセントです。男性は41.2パーセントだということになります。

先生：専門職・技術職は一貫して女性の割合が高いですが、徐々に女性の割合が増えていった職種も見られますね。

天野さんは先生との会話と表から以下のメモを作成した。メモの内容として、正しいものの組み合わせを以下の中から選びなさい。

メモ

- ① 二つの世界大戦は、男性の兵役により女性が工場労働などに動員される契機となり、いずれの大戦でも戦後の女性労働力率は戦前より上昇した。
- ② 既婚女性の労働力率は第二次世界大戦後に大きく上昇しており、1971年以降に実施された国勢調査では家庭外で就業する既婚女性が多数派になった。
- ③ 長期的に見ると、事務職と販売職では男性から女性への転換が生じ、1981年には女性が4分の3以上を占めるようになった。
- ④ 非肉体労働の分野では、第二次世界大戦後に女性の参加が増加したものの、終戦から20年経っても男性が圧倒的多数を占める職種がある。

(ア) ①・②

(イ) ①・③

(ウ) ①・④

(エ) ②・③

(オ) ②・④

(カ) ③・④

2 次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

世界史上まれに見るほど徹底的な直接民主主義を実現したアテネ民主政は、19世紀以来さまざまな評価を受けてきた。⁽¹⁾ 評価は両極に分かれる。その一方は、近代民主主義の模範としてそれを理想視する見方であり、また他方は、気まぐれな民衆が群集心理によって国政を左右する悪質な衆愚政であったとする見方である。

アテネ民主政の歴史を一つの「墮落」のプロセスとして描く視点も、広い意味で後者の見方に属するだろう。⁽²⁾ それによれば、前5世紀なかばに黄金時代を築いたアテネ民主政は、その後ペロポネソス戦争（前431～前404年）をさかいにして、⁽³⁾ 無定見な民衆による衆愚政という病理にとりつかれ、前4世紀にはすっかり衰えて没落していったという。この盛衰史観は、ことに日本では現在でも意外と根強い影響力がある。世界史の教科書や参考書でしばしば目にするのもこの歴史観である。

しかしながら注意しなくてはならないのは、どちらの見方にせよ、それぞれの背景には民主主義というものをめぐる一種のイデオロギーないしは思い込みがあり、いずれも古代民主政のありのままを記述するものとは言いがたいということなのである。

実際、今日無邪気にアテネ民主政を理想視するには、われわれはすでにあまりに多くの事実を知っている。成年男子市民の間では一応徹底していた政治的平等も、女性・奴隷および在留外人（メトイコイ）を完全に排除したところで成り立っていた。⁽⁴⁾ 市民（ポリタイ）とは、参政権を独占する特権階層のことである。また基本的人権という発想は、古代のアテネ市民にまったく無縁のものであった。たとえば現行犯で逮捕された強盗や誘拐の犯人は、本人が罪を認めさえすれば裁判なしに処刑すらされたのである。

では、やはりアテネ民主政は、気まぐれで不合理な群集心理に動かされる衆愚政だったのであろうか。

たしかに現代の基準をあてはめれば、アテネ民主政は幼稚で素朴な印象を免れない。だが、古典古代を単純に理想視するのが無意味であるのと同様、現代の高みから一方的に断罪するのもまた適切な姿勢とは言えないだろう。戒めねばなら

ないのは、古代の民主政をむやみに現代に引きつけて説明したり、あるいは双方の時代差を無視して現代の文脈でのみ解釈することなのである。

アテネ民主政を、たとえ部分的にせよ衆愚政と批判する態度は、さしあたりつぎのような重大な反省を迫られるだろう。

第一に、「衆愚政（オクログラシー）」ということば自体、それが最初に使われた古代以来、民主政に対するある種のかたよった価値観を含んできたものである。それは特定の立場から何かをそしるときに用いるレッテルであって、あることがらを客観的に説明することばとは言えない。〔…〕

第二に気をつけねばならないのは、ソクラテスにせよプラトンにせよ、アテネ民主政と同じ時代に生きた哲学者たちが、⁽⁵⁾多かれ少なかれ民主政に批判的な立場を取っていたことである。〔…〕アテネ民主政について書き残された古典史料のうち、かなり重要な部分が、彼らや彼らと同様の立場に立つ人々の手によるものであることに注意しよう。〔…〕アテネ民主政に対するこのような否定的な評価は、以後ローマ・ルネサンス・啓蒙時代をへて19世紀に至るまで、強固な観念としてヨーロッパの思想界に影響を与え続けた。〔…〕

第三に、最近100年ほどの間に、それまでの学者が目にしたことのなかった新しい史料や遺物がつぎつぎに発見・発掘され、それによってアテネ民主政史研究の状況がかなり変容したことも考慮に入れねばならない。〔…〕20世紀のこうした新しい研究がこれまでにあきらかにしてきたのは、アテネ民主政が従来考えられてきたよりもはるかに整った、精密なシステムを備えていたものであって、少なくとも群衆が気まぐれに行なう幼稚な政治体制ではないということであった。しかも民主政のしくみは、むしろギリシア都市国家の衰退期とされる前4世紀に⁽⁶⁾入ってから、ますますその完成の度あいを高めていったことまでも判明した。こうした発見は、伝統的な古典史料が描かなかつた（あるいは描こうとしなかつた）アテネ民主政の知られざる側面をいくつも明るみに出し、それまでのものの見方に大きな変更を迫ったのである。

（橋場弦『民主主義の源流 古代アテネの実験』講談社、2016年、〔 〕は問題作成者による補足、…は中略を示す。一部表記を調整した。）

設問1 下線部(1)に関連して、19世紀に歴史への関心が高まる中で、厳密な史料批判にもとづく実証主義的な歴史学の基礎をつくったドイツの歴史家の名前を書きなさい。

設問2 下線部(2)に関連して、アテネ民主政の歴史をその前史から述べた次の文中の空欄 ① ～ ⑤ にあてはまる語句を以下の語群から選びなさい。

ミケーネ文明崩壊後の混乱期にアテネは王政から貴族政に移行していたが、その政治体制はやがて平民の不满を背景として動揺しはじめ、貴族と平民との対立は激化していった。この社会対立をおさめるために、まず前7世紀後半には ① によってはじめて法律が成文化され、ついで前594年には財産と参政権、および市民身分の保持にかかわる改革がおこなわれた。しかし貴族と平民との対立は依然としてやまず、前6世紀をとおして平民層は力を増していった。前508年にアテネの指導者になった ② は部族制度の大改革を行い、市民が区や部族への所属をとおして国政に直接参加することのできる仕組みを整えた。これによってアテネ民主政の基礎が築かれる。

前5世紀になると、オリエントを統一したアケメネス（アカイメネス）朝ペルシアの支配下にあった ③ などのイオニア地方の諸ポリスが反乱を起こし、これをアテネが支援したため、ペルシアはギリシアに攻め込んだ。東方の大帝国によるこの危機に際してギリシア側は団結して戦い、前479年の ④ によってギリシア側の勝利は決定的となった。

その後、ギリシアの諸ポリスはペルシア軍の再襲来にそなえてデロス同盟を結成した。アテネはその盟主として同盟の基金を自国の財政資金に流用し、政治的にも文化的にも繁栄した。 ⑤ の建築様式をもつパルテノン神殿は、アテネ民主政の象徴とも言われる。

〔語群〕

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ① (ア) リュクルゴス | (イ) フェイディアス |
| (ウ) ソロン | (エ) ドラコン |
| ② (ア) ペリクレス | (イ) クレイステネス |
| (ウ) ペイシストラトス | (エ) テミストクレス |
| ③ (ア) アンティオキア | (イ) マッサリア (マルセイユ) |
| (ウ) ティルス | (エ) ミレトス |
| ④ (ア) アクティウムの海戦 | (イ) マラトンの戦い |
| (ウ) プラタイアの戦い | (エ) イッソスの戦い |
| ⑤ (ア) ドーリア式 | (イ) イオニア式 |
| (ウ) コリント式 | (エ) ヘレニズム式 |

設問3 下線部(3)に関する記述として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) この戦争は民主政ポリスを中心とするアテネ側の陣営と、貴族政ポリスを中心とするスパルタ側の陣営とにわかれて展開した。
- (イ) この戦争の背景として、デロス同盟の結成によってアテネがスパルタに脅威を感じさせるほどに勢力を拡大したことがある。
- (ウ) この戦争の開始に際してスパルタは、アテネ側のデロス同盟に対抗するために、周辺諸ポリスとペロポネソス同盟を結成した。
- (エ) この戦争は当初こそアテネが優勢だったが、疫病の流行と指導者の死も災いして、ペルシアの支援を受けたスパルタが勝利した。

設問4 下線部(4)に関する記述として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) この政治的平等の背景には、重装歩兵の武具を購入できない市民層が、ペルシア戦争において三段櫓船の漕ぎ手として活躍したことがある。
- (イ) 前5世紀のアテネにおいては、将軍職や法廷の陪審員をはじめとするすべての役人が、一般市民からの抽選によって選出された。
- (ウ) 前5世紀のアテネにおける国政の最高機関は民会であり、そこには財産の多寡にかかわらず、すべての成年男性市民が参加できた。
- (エ) 前5世紀に、アテネにおける市民権は、両親がともにアテネ市民である者に限定された。

設問5 下線部(5)に関する記述として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 民主政アテネに生まれ育ったソクラテスは、市民による誤解と反感を受けて処刑された。
- (イ) ソクラテスの弟子プラトンは、永遠不変の实在であるアイデアを特徴とする哲学を展開するとともに、少数の有徳者による国家統治のあり方を模索した。
- (ウ) プラトンの哲学を継承した「万学の祖」アリストテレスは、観察や経験を重んじ、万物の尺度を人間とする哲学を展開した。
- (エ) ソクラテスに始まる絶対的な真理の探究には、当時のギリシア世界に現れたソフィストと呼ばれる職業教師の活動や思想への対抗という性質がある。

設問6 下線部(6)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) ペロポネソス戦争の後、ギリシア世界の主導権はスパルタが握り、その強大な軍事力による支配のもとでアテネの勢力は衰退し続けた。
- (イ) ペロポネソス戦争の後、それまで禁止されていた貴金属貨幣が流入し、スパルタは経済を活性化させたことでギリシア世界の覇権を握った。
- (ウ) アレクサンドロスを王とするマケドニアが北方からギリシア世界に侵入し、それを迎え撃ったテーベとアテネの連合軍はカイロネイアの地で敗れた。
- (エ) カイロネイアの戦いの後、スパルタを除くすべてのポリスがコリントス同盟（ヘラス同盟）にまとめられ、マケドニアの支配下に置かれた。

設問7 次のA～Cは古代のアテネ民主政についての判断を述べたものである。

本大問の冒頭に掲げた文章の趣旨に合致するものを正、合致しないものを誤として、正しい組み合わせを以下の中から選びなさい。

- A アテネ民主政は世界史上まれに見るほどに徹底的な直接民主主義を実現したが、それは奴隷制に依拠したものであり、成年男性市民のみによるものであったという点で「民主主義」の名に値しない。
- B アテネ民主政は黄金時代と呼ばれる前5世紀を過ぎ、前4世紀というポリスの衰退期に入っても発展を続け、国家統治に有効な政治体制として後のローマやルネサンス期のヨーロッパでも評価され続けた。
- C アテネ民主政に対して古典史料のうち重要な部分が批判的な立場を取っているが、そのような史料が描かなかつた民主政の精緻な側面が、20世紀における新史料の発見や発掘調査などによって明らかになった。

- (ア) A — 正 B — 正 C — 正
- (イ) A — 正 B — 正 C — 誤
- (ウ) A — 正 B — 誤 C — 正
- (エ) A — 誤 B — 正 C — 誤
- (オ) A — 誤 B — 誤 C — 正
- (カ) A — 誤 B — 誤 C — 誤

3 次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

モンゴル高原では、1206年に即位したチンギス=カン（ハン）が支配体制を固め、大モンゴル国（モンゴル帝国）を建てた。チンギス=カンの死後に即位したオゴデイ（オゴタイ）は、1234年に ① を滅ぼして華北を領有し、バトゥに西征（ヨーロッパ遠征）を命じた。モンケの時代にはフレグ（フラグ）が西アジア遠征を行い、アッバース朝を滅ぼした。こうして13世紀後半に大モンゴル国はユーラシア大陸の大半を支配するようになり、複数のウルス（ハン国）が並び立⁽¹⁾った。第5代皇帝となったクビライ（フビライ）⁽²⁾は国号を中国風の元と改称し、南宋を滅ぼして中国全土に支配を広げた。また、クビライは東南アジア⁽³⁾や日本に遠征軍を派遣した。大モンゴル国・元の時代にはユーラシア大陸の東西をつなぐ交流が活発となり、クビライに仕えたとされる ② は、その見聞を『世界の記述』（『東方見聞録』）にまとめた。14世紀になると、大モンゴル国は急速に衰えて各地で反乱が起こり、1351年に始まる ③ がきっかけとなって元は北方に追いやられた。

③ に参加して頭角を現した朱元璋（洪武帝・太祖）⁽⁴⁾は、1368年に南京を都として明を建てた。第3代の ④ の時代にはイスラーム教徒の宦官に南海諸国遠征を命じ、諸国に朝貢を促した。また、北京に遷都し、長城や大運河の修築を行った。16世紀半ばになると、 ⑤ が北京を包囲するなど、北方のモンゴルや東南沿岸の倭寇の活動が活発化した。また、この頃にはヨーロッパから訪れたキリスト教宣教師がヨーロッパの科学技術を伝え、明の文化⁽⁵⁾に影響を与えた。明末になると、朝鮮半島や中国東北地方での戦争によって明の財政難は深刻化し、 ㉠ 政治は混乱した。重税や飢饉を背景として各地で反乱が起こり、李自成の反乱軍が北京を占領したことによって1644年に明は滅亡した。

設問1 文中の空欄 ㉑ にあてはまるものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 宦官が官僚や学者を弾圧する党錮の禁によって
- (イ) 交鈔の濫発によって
- (ウ) 新法党と旧法党の対立によって
- (エ) 東林派と非東林派の党争によって

設問2 文中の空欄 ① ～ ⑤ にあてはまる語句を以下の語群から
選びなさい。

〔語群〕

- | | |
|-------------------|----------------|
| ① (ア) ホラズム = シャー朝 | (イ) 渤海 |
| (ウ) 西夏 (大夏) | (エ) 金 |
| ② (ア) プラノ = カルピニ | (イ) マルコ = ポーロ |
| (ウ) ルブルック | (エ) アダム = シャール |
| ③ (ア) 永嘉の乱 | (イ) 紅巾の乱 |
| (ウ) 太平天国の乱 | (エ) 赤眉の乱 |
| ④ (ア) 太武帝 | (イ) 建文帝 |
| (ウ) 永楽帝 | (エ) 同治帝 |
| ⑤ (ア) アルタン = ハーン | (イ) エセン |
| (ウ) ソンツェン = ガンボ | (エ) ツォンカパ |

設問3 下線部(1)に関連して、次のA～Cの文の正誤の組み合わせとして、正しいものを以下の中から選びなさい。

A 中央アジアのチャガタイ＝ハン国は、14世紀に東西に分裂した。その後、西チャガタイ＝ハン国からバーブルが台頭した。

B 中央ユーラシア西部のキプチャク＝ハン国は、バトゥによって建てられた。キエフ公国のイヴァン3世は、キプチャク＝ハン国の支配から脱した。

C 西アジアのイル＝ハン国は、ガザン＝ハンの時代にイスラーム教を国教とした。宰相のラシード＝アッディーンは、ユーラシア全般の世界史である『集史』を編纂した。

- (ア) A — 正 B — 正 C — 正
(イ) A — 正 B — 正 C — 誤
(ウ) A — 正 B — 誤 C — 正
(エ) A — 誤 B — 正 C — 誤
(オ) A — 誤 B — 誤 C — 正
(カ) A — 誤 B — 誤 C — 誤

設問4 下線部(2)に関する記述として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 即位に際して、カイドゥ（ハイドゥ）の乱が起こった。
(イ) カラコルムから現在の北京に位置する平城に遷都した。
(ウ) モンゴル語を表記するため、チベット仏教の高僧パクパに新しい文字をつくらせた。
(エ) 郭守敬に命じ、イスラーム暦の影響を受けた授時暦をつくらせた。

設問5 下線部(3)に関連して、元の攻撃を受けて衰退したビルマ（ミャンマー）の王朝として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) パガン朝
- (イ) チャンパー
- (ウ) 陳朝
- (エ) スコータイ朝

設問6 下線部(4)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 尚書省を廃止して六部を皇帝直属とし、皇帝独裁体制を強化した。
- (イ) 軍制として、一般の民戸と別に軍戸を設ける千戸制を整備した。
- (ウ) 民衆を教化するため、儒教道徳にもとづく六諭を定めた。
- (エ) 皇帝直属の諮問機関として、軍機処を設置した。

設問7 下線部(5)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 宋応星は、産業技術書である『天工開物』を著した。
- (イ) 李時珍は、農業技術・農業政策の総合書である『農政全書』を著した。
- (ウ) イエズス会宣教師のマテオ＝リッチは、中国最初の漢訳世界地図である「皇輿全覧図」の刊行を行った。
- (エ) 『水滸伝』・『三国志演義』・『西遊記』・『紅樓夢』の四大奇書が完成した。

4 次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

15世紀以降、ラテンアメリカ世界はヨーロッパや北米と影響を与え合いながら発展していった。中南米地域にはヨーロッパ人の到着前から複数の文明が成り立ち、その中には広大な領域を支配する国も存在していた。16世紀にはスペインとポルトガルによってこれらの国は滅ぼされて、植民地化された。⁽¹⁾

しかし19世紀前半になると、中南米地域の植民地は次々と独立した。その原因としては、アメリカ独立革命の思想が流入したことや ① が挙げられる。この地域で最初に独立を果たしたのはハイチである。この独立運動はフランス植民地サン＝ドマングにおける黒人奴隷の解放運動として始まり、反乱軍の指導者である ② の活躍を経て、1804年にハイチ独立という形で終わった。ここでは黒人が中心になって解放運動が進められたが、ブラジルやアルゼンチン、大コロンビアでは ③ と呼ばれる、ラテンアメリカ生まれの白人⁽³⁾によって独立運動が進められた。

19世紀末になると、アメリカ合衆国が中南米地域にその勢力を拡大するようになった。⁽⁴⁾たとえば、④年のアメリカ＝スペイン戦争でアメリカ合衆国は ⑤ を独立させて保護国とし、その独立の条件として米国の介入権や海軍基地の建設などを可能にするプラット条項を認めさせた。なお、この条項をもとに作られたグアタナモ基地は21世紀でも使われ、2003年に起きた ⑥ の際には、捕虜の収容や虐待に用いられた。

20世紀に入ってアメリカ合衆国は同地域へさらに進出した。コロンビアからパナマを独立させ、パナマ運河を造り、その管理権を握った。このことでアメリカ合衆国は、大西洋からカリブ海を経て太平洋⁽⁵⁾に向かうルートをおさえ、大国への道を歩むことになったのである。

設問1 文中の空欄 ㉑ にあてはまる文を以下の中から選びなさい。

- (ア) 宗主国がナポレオン戦争によって不安定化したこと
- (イ) 宗主国が独立運動を支援したこと
- (ウ) 植民地各地で工業化が進んだこと
- (エ) 植民地各地で立憲主義が進展して議会在立したこと

設問2 文中の空欄 ① ～ ⑤ にあてはまる語句や数字を以下の語群から選びなさい。

[語群]

- ① (ア) シモン＝ボリバル
(イ) イダルゴ
(ウ) トゥサン＝ルヴェルチュール
(エ) サン＝マルティン
- ② (ア) メスティーソ (イ) ムラート
(ウ) クリオーリョ (エ) サン＝キュロット
- ③ (ア) 1868 (イ) 1878
(ウ) 1888 (エ) 1898
- ④ (ア) メキシコ (イ) キューバ
(ウ) ペルー (エ) フィリピン
- ⑤ (ア) 「対テロ戦争」(アフガニスタン攻撃)
(イ) イラク戦争
(ウ) ベトナム戦争
(エ) イラン＝イスラーム革命 (イラン革命)

設問3 下線部(1)に関連して、スペインの侵略者と、滅ぼされた先住民の国や文明との組み合わせとして、正しいものを以下の中から選びなさい。

侵略者

X ピサロ Y コルテス

国・文明

a アステカ王国 b マヤ文明 c インカ帝国

- (ア) X — a Y — b (イ) X — a Y — c
(ウ) X — b Y — a (エ) X — b Y — c
(オ) X — c Y — a (カ) X — c Y — b

設問4 下線部(2)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 16世紀以降、中南米では、スペインやポルトガルからの移民が大規模農園を建設し、そこに黒人奴隷が大量に持ち込まれた。このことにより先住民は隔離された居住地に住むようになり、少しずつ人口を減らしていった。
- (イ) 18世紀後半以降、カリブ海や北米大陸の南部には、イギリスによって多くの黒人奴隷が供給された。この際にカリブ海からは主として木綿などの綿織物がヨーロッパに輸出され、ヨーロッパからはタバコやコーヒーがアフリカ大陸に輸出された。
- (ウ) 18世紀の黒人奴隷貿易では、イギリスのリヴァプールや北アフリカのカイロなどの港湾都市がその拠点になった。
- (エ) 19世紀にイギリスやフランスでは奴隷制が廃止されたが、アメリカ合衆国では奴隷制の廃止か維持かをめぐって南部諸州と北部諸州の間で対立が深まり、南北戦争が始まった。

設問5 下線部(3)に関連して、20世紀にこの国で反米的な立場から社会改革を行った政治家として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) ピノチェト (イ) アジェンデ
(ウ) ペロン (エ) カストロ

1

設問 1	(A)	解放				
設問 2	①	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	②	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	③	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	④	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	⑤	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 3		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 4		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 5		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 6		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

26点

2

設問 1		ランケ				
設問 2	①	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	②	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	③	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	④	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	⑤	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 3		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 4		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 5		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 6		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 7		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

26点

3

設問 1	(A)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
設問 2	①	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	②	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	③	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	④	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	⑤	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 3		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 4		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 5		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 6		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 7		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

24点

4

設問 1	(A)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 2	①	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	②	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	③	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	④	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	⑤	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 3		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 4		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 5		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 6		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
設問 7		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

24点